

好きなものと生きること、
それは人生を豊かにする。



SDG s 映画

ハーブ&ドロシー

～アートのある小さな巨人～

郵便局員のハーブと、
図書館司書のドロシー。
夫婦共通の楽しみは現代アートのコレクションだ。
選ぶ基準はふたつ。

- (1) 自分達のお給料で買える値段であること。
- (2) 1LDKのアパートに収まるサイズであること。



アートコレクターといえば、誰もがお金持ちを想像するだろう。
しかし、国立美術館にコレクションを寄贈したのはごく普通の公務員。
「ハーブ&ドロシー」は、実在する現代アートコレクター、ヴォーゲル夫妻を追った。
ふたりがいかにして膨大なコレクションを築いたのか？その秘密を明らかにしながら、
次第に“ほんとうに豊かな人生”のあり方を浮き彫りにしていく。
お金儲けのためではなく、ただひたすら二人三脚で好きなモノを集めてきたふたりの姿は、
発見する喜びと夫婦愛に満ちている。アートの知識なんてなくても、彼らの人生に触れれば、
ほんの少し世界が変わって見えるはずだ。

ごく普通の市民が、アメリカの国立美術館に
2000点以上のアート作品を寄贈した!?

奇跡を起こした情熱の老夫婦のドキュメンタリー。

ニューヨークでは口コミで感動が感動を呼び、
17週のロングランを記録、その後、世界の映画祭で賞賛され
大きな注目を集めた。日本でも2010年秋から全国50館を
越える劇場で、ロングランを記録した。

上映会

11月19日(木)
開場 9:30 / 開演 10:00

会場 ボッシュホール ホール

料金 1,000円

予約販売はございません。直接お越しください。

